

問1 ある地域の土地利用を示した資料において、滑走路を備えた空港施設に隣接して広大な住宅街が広がっており、航空機の飛行経路が居住エリアの真上を通過するよう設定されている場合があります。このような状況で、住民の生活環境を守る観点から最も懸念される現代社会の課題はどれですか。（2025年 静岡公立入試 類似）

1. 航空機の離着陸時に発生する音が、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす騒音問題
2. 空港の地下水汲み上げによって、周辺の住宅地が徐々に沈み込む地盤沈下
3. 航空機から排出されるガスが、特定の地域において健康被害をもたらす大気汚染
4. 空港の通信設備から発せられる電波が、家庭のテレビ受像などを妨げる電波障害

問2 インターネットなどの情報通信技術の発展により、国境を越えて人、商品、資本、情報などが活発に移動し、世界が一体化していく現象を何と呼びますか。最も適切な語句を選択してください。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. グローバル化
2. 近代化
3. 民主化
4. 情報化社会

問3 1948年に国際連合で採択された世界人権宣言は、各国を法的に拘束する力がありませんでした。そこで、この宣言の内容を具体化し、締約国に法的な義務を負わせるために1966年に採択されたものはどれですか。（2024年 静岡公立入試 類似）

1. 国際人権規約
2. 女子差別撤廃条約
3. 子どもの権利条約
4. 平和原則宣言

問4 高度経済成長期の日本における「日常生活時間」の変化について、家電製品の普及が果たした役割を説明したものとして最も適切なものはどれか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 電気掃除機や電気洗濯機の普及により、家事の効率が上がり、労働時間が短縮された
2. 自家用車の保有台数の増加により、家事よりも余暇を楽しむための移動時間が優先されるようになった
3. 食生活が変化して米の消費量が減ったため、炊事にかかる時間が大幅に増加した
4. 家族構成が核家族へ変化したことで、一人あたりの家事分担が増え、生活の利便性が低下した

問5 「車を自由に使えない人」の年代別割合を調査した統計において、30代から50代の各年代はいずれも10%未満であるのに対し、60代以上が全体の約7割を占めているという結果があります。このような状況において、高齢化が進む現代社会における公共交通が果たすべき最も重要な役割は何ですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 身体機能の低下や免許返納により自家用車を運転できない高齢者の移動手段を確保する役割
2. 若者の自動車離れを防ぐために、公共交通機関の運賃を引き上げて自動車購入を促す役割
3. 二酸化炭素の排出量を削減するために、すべての自家用車の利用を禁止する役割
4. 都市部への人口集中を加速させるため、地方の公共交通機関を廃止して都市部の網を広げる役割

問6 ある地域で利用者が減少した民間のバス路線が廃止されることになりました。これを受けて市議会では、「自家用車を持たない高齢者や学生などの移動手段を確保するため、市が予算を投じて新たなバスを運行すべきだ」という方針を決定しました。このように、社会的な意思決定において、一部の人がだけ不利益を被ることがないよう配慮する考え方を何といいますか。（2015年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 公正
2. 効率
3. 自由
4. 分業

問7 現代社会において、人・物・お金・情報などが国境を越えて大量かつ迅速に移動するようになり、政治や経済、文化など様々な分野で「世界の一体化」が進んでいる現象を何と呼びますか。（2024年 鳥取公立入試 類似）

1. グローバル化
2. 産業の空洞化
3. 貿易の自由化
4. 高度経済成長

問8 中学生たちが「誰もが安心して暮らせる社会」について討論している場面を想定します。その中で、車椅子を利用する人が公共交通機関をスムーズに利用できるよう、バスの乗降口の段差をなくすといった取り組みが挙げられました。このように、高齢者や障害者が社会生活を送る上での物理的な障壁を取り除くという考え方を何と呼びますか。（2017年 沖縄公立入試 類似）

1. バリアフリー
2. インフォームド・コンセント
3. ワーク・ライフ・バランス
4. クーリング・オフ

問9 現代社会において、人種、性別、年齢、障害の有無といった異なる背景や属性を持つ人々が、お互いの個性を尊重しながら社会の中で共に生きている状態を何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。（2023年 鳥根公立入試 類似）

1. 多様性（ダイバーシティ）
2. 画一化
3. 単一性
4. 社会的隔離

答え合わせ・解説

問1	答え 1 航空機の離着陸時に発生する音が、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす騒音問題	航空輸送の利便性と引き換えに、空港周辺では航空機の離着陸に伴う強烈な音が住民の睡眠や教育、健康に影響を与えることがあります。これは個人の健康で文化的な生活を営む権利（環境権）に関わる問題であり、防音工事の実施や夜間の離着陸制限、飛行ルートの変更といった対策が求められる現代社会の重要な環境課題の一つです。
問2	答え 1 グローバル化	交通網の発達や情報通信技術（ICT）の劇的な進化により、物理的な距離や国家の枠組みを超えた交流が容易になりました。この結果、政治・経済・文化のあらゆる面で世界規模での結びつきが強まっており、現代社会を理解する上で不可欠な概念となっています。
問3	答え 1 国際人権規約	世界人権宣言はあくまで「努力目標」としての性格が強く、強制力がなかったため、より実効性を高めるために「国際人権規約」が作られました。これによって、批准した国々にはその内容を守る法的な義務が生じることになりました。日本は1979年にこれを批准しています。
問4	答え 1 電気掃除機や電気洗濯機の普及により、家事の効率が上がり、労働時間が短縮された	技術革新によって登場した電気掃除機や電気洗濯機などの家電製品は、それまで長時間の発汗や重労働を伴っていた家事を自動化・効率化しました。当時の日常生活時間の内訳を調査したデータでも、これらの普及に合わせて家事に費やされる時間が目に見えて減少していることが示されています。この変化は、女性の社会進出を後押しする一因にもなりました。
問5	答え 1 身体機能の低下や免許返納により自家用車を運転できない高齢者の移動手段を確保する役割	統計データから、「車を自由に使えない人」の大部分が高齢層であることがわかります。高齢化社会では、加齢に伴う身体機能の低下や、事故防止のための運転免許の自主返納などにより、自ら運転して移動することが困難な人が増加します。そのため、通院や買い物などの日常生活を維持するための移動手段を確保することが、公共交通の極めて重要な役割となります。
問6	答え 1 公正	社会的な決まりを作る際、手続きが正しく行われているか、あるいは特定の人々が不当な不利益を被っていないかといった視点で判断することを「公正」といいます。この事例では、バスの廃止によって困る人々への配慮がなされており、社会全体の利益を等しく尊重しようとする公正の考え方が表れています。
問7	答え 1 グローバル化	交通手段や通信技術の飛躍的な発達により、国境を越えた交流が容易になったことで、世界が一つに結びつく「世界の一体化」が進んでいます。この現象は経済活動にとどまらず、地球環境問題への取り組みや文化交流など、あらゆる分野に及んでいます。
問8	答え 1 バリアフリー	高齢者や障害者にとって社会生活の妨げ（障壁）となる物理的な段差や、制度的・心理的な壁を取り除くことをバリアフリーといいます。問題文にある「車椅子の人が乗りやすいバス（ノンステップバスなど）」の導入は、物理的な障壁を解消する代表的な具体例です。他の選択肢について、インフォームド・コンセントは医療における説明と同意、ワーク・ライフ・バランスは仕事と生活の調和、クーリング・オフは一定期間内の契約解除権を指す用語です。
問9	答え 1 多様性（ダイバーシティ）	現代の民主政治においては、すべての人が等しく尊厳を持って生きるために、違いを排除するのではなく受け入れる考え方が重要視されています。かつてのような「全員が同じであること（画一化）」を求めるのではなく、一人ひとりの異なる背景を社会の活力につなげようとするこの概念は、持続可能な社会を築くための基盤となっています。